

高齢者施設に向けた新型コロナウイルス対策研修会開催要領

高齢者福祉施設では、新型コロナウイルスによるクラスターが多く発生し、特に2020年末以降から集中発生しており、県内で感染が拡大するとともに医療機関において病床のひっ迫状態にも大きく関与してきたところです。

医療体制緊急確保チームにあっても多くのクラスター対応を行ってきましたが、特に、高齢者福祉施設においては、その特殊性から一度感染者が発生すると感染が拡大する傾向にあります。

今後見込まれる第5波に備え、高齢者施設での感染拡大防止を図ることを目的として、愛知県内福祉施設を対象とした研修会を下記のとおり開催します。

記

1 日時

令和3年7月29日（木） 13時30分～15時30分

2 対象

愛知県内高齢者福祉施設の職員

3 実施方法

原則Zoomによるリモート型式で実施。

リモート参加が困難な場合は後日、動画配信

4 内容

(1) 講義（40分）

① 研修の意義（5分）；愛知県

② 高齢者福祉施設型の感染者発生状況と今後の展開（15分）

第4波までの高齢者福祉施設における感染発生状況と今後の対策
（講演者）

愛知県新型コロナウイルス感染症調整本部医療体制緊急確保チーム統括官
名古屋掖済会病院副院長 北川喜己

③ 感染防止の実際（20分）

感染三原則の紹介と飛沫・接触・エアロゾル感染対策、ゾーニングの意義
（講演者）

愛知県看護協会 感染管理認定看護師 中里トモ子

(2) ケーススタディ（福祉施設における感染対応）：ブレイクアウトルーム（60分）

個室型、ユニット型、多床室型施設形態でグループ分けをし、各仮想施設に陽性者が発生した時の対応を各グループで討議

（コメンテーター）医療体制緊急確保チーム

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院副院長 花木芳洋

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院救命救急センター長 稲田眞治

（グループ付ファシリテーター）

医療体制緊急確保チーム

【検討項目】

- ・ 感染者発生時の対応（20分）
- ・ 患者発生時の初動対応（20分）
- ・ 施設利用者、職員全体の行動歴、健康状態の把握ゾーニング（20分）

(3) 総合質疑（20分）